

『天御中主神示集』

～JDR神示集～

【まえがき】

天御中主神である。我は、かつて、二千数百年程前にこの日本の国に肉体を持ち、その後、数千年に渡って、日本神道系靈団の長として指導しつづけてきた者である。高天原においては、中心的な存在であるが故に、「天御中主神」という名称で呼ばれていると理解しておいていただきたい。

かつて、エマソンのニューソート運動を指導し、また、住吉大神の名で、谷口雅春の人類光明化運動も指導した神が、ここに復活し、今度、日本国の大転換期にあたり、「JDR」を指導することになったのである。

これより数百年数千年後の視点から観れば、今という時代は、まさに、神の奇蹟の時代であったということが分かるのである。このような形で神代の神が直接に降臨し、直接に言魂を降し、「新生日本の建設」をしてゆかんとしているのである。

まさに、JDR(Japanese Dream Realization)の意味の如く、大いなる日本の夢、大いなる日本の実相の夢、神々の夢を地上に実現化してゆかんとしているのである。

本書においては、「JDRの諸君よ」と呼びかけられているが、これは、新しきジャパニーズ・ドリームを実現せんとする志を持つ方々に向けて投げかけられたメッセージである。

今までのジャパニーズ・ドリームと、これよりの新しき「ジャパニーズ・ドリーム」の違いは、「神」を精神的支柱にしながら、限りなく高い精神性を發揮している所にあるのである。

故に、「神」への信仰心を剛く持つことによって、神の無限のエネルギー、無限の智恵、無限の愛、無限の光明が湧き出でて、大いなる夢を実現する力となってゆくのである。

神示集の中には、「JDRの使徒」という言葉も出てくる。これは、かつてのイエス・キリストの十二使徒の如く、我、天御中主神の直弟子のことである。

読者の中で「JDRの使徒」にならんと決意された方は、我が直接に光明を降ろしてゆく。何故なら、信仰心が剛ければ剛い程、その決意と信念が剛ければ剛い程、我との一体感は深まるからである。

かかる方は、「我、JDRの使徒なり」との自覚を持って、日々日々、JDR神示集を熟読していただきたい。さすれば、ふつふつとふつふつと無限の神の

力が湧き上がってくるに違いないのである。

本書において、無数の素晴らしいJDRの同志達、JDRの使徒達が生まれてゆくことを心より念願している。そうした方々の力によって、大いなる日本の夢が実現し、素晴らしい新生日本が建設されてゆくことを心の底より願っている。